



メス

アトリ

アトリ科〈冬鳥〉全長 16cm
 秋から冬にかけて訪れ、群れでえさを探していることが多い。胸がオレンジ色で、尾はM形。飛ぶと腰の白が目立つ。飛びながら「キョッ、キョッ」と鳴く。アトリ科の鳥に共通するが、くちばしが太く、木の实などを割って食べるのに適している。



オス

カワラヒワ

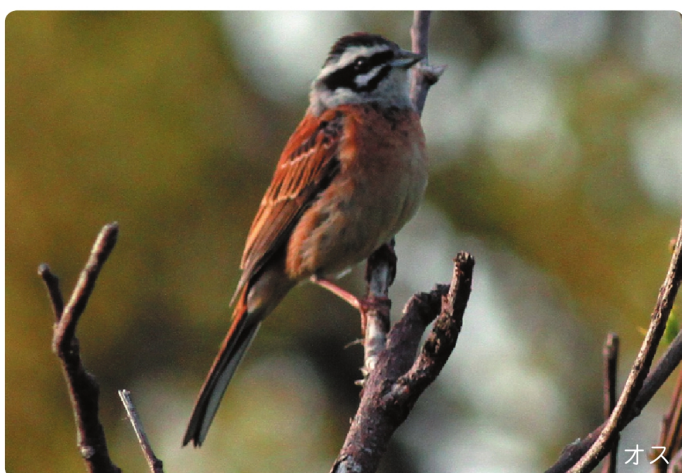
アトリ科〈留鳥〉全長 15cm
 繁殖期以外は群れでいることが多い。飛ぶときに羽の基部の黄色が目立つ。草の種子などを食べる。柳瀬川では、群れで順番に水浴びする光景などが見られる。「キリリ コロコ ビーン」などと鳴く。



オス

シメ

アトリ科〈冬鳥〉全長 19cm
 斜面林や木の多い公園・農地などに飛来する。オスの頭部は赤褐色で、背が暗褐色、目先と喉が黒い。メスはオスより全体的に淡い色。「チッ」とか「ツィー」と鋭く鳴く。



オス

ホオジロ

ホオジロ科〈漂鳥〉全長 17cm
 志木周辺では、荒川堤外や水谷田んぼのヨシ原などに冬期にやってくる。山地では、農地と山林の境あたりでよく見かけ、繁殖期になるとオスは木の高いところで「一筆啓上仕り候 (イッピツケイジョウ ツカマツリソウロウ)」などと聞きなしされる複雑な節でさえずる。【準絶滅危惧】